

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【公表番号】特表2006-514917(P2006-514917A)

【公表日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-520071(P2004-520071)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4706 (2006.01)

A 6 1 K 31/343 (2006.01)

A 6 1 K 31/4164 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/454 (2006.01)

A 6 1 K 31/4545 (2006.01)

A 6 1 K 31/495 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4706

A 6 1 K 31/343

A 6 1 K 31/4164

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/454

A 6 1 K 31/4545

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/20

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月27日(2006.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メラニン沈着されたカテコールアミンニューロンの細胞呼吸を増加させるために有用な組成物であって、該組成物は活性成分を含有し、該活性成分は、以下：

7 - クロロ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン (クロロキン) ; 7 - フルオロ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン (デスメチルクロロキン) ; 7 - フルオロ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - フルオロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - フルオロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - ジエチルアミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン (ヒドロキシクロロキン) ; 7 - フルオロ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; リン酸ヒドロキシクロロキン ; 7 - クロロ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン (デスメチルヒドロキシクロロキン) ; 7 - フルオロ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - フルオロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - ブチルアミノ) キノリン ; 7 - クロロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - フルオロ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 4 - (1 - カルボキシ - 4 - エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ) キノリン ; 7 - ヒドロキシ - 4 - (1 - カルボキシ - 4 -

エチル - (2 - ヒドロキシエチル) - アミノ - 1 - メチルブチルアミノ)キノリン; 8 - [(4 - アミノペンチル)アミノ] - 6 - メトキシジヒドロクロライドキノリン; 1 - アセチル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロキノリン; 8 - [(4 - アミノペンチル)アミノ] - 6 - メトキシキノリンジヒドロクロライド; 1 - ブチリル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロキノリン; 3 - クロロ - 4 - (4 - ヒドロキシ - , ' - ビス(2 - メチル - 1 - ピロリジニル) - 2, 5 - キシリジノキノリン、4 - [(4 - ジエチルアミノ) - 1 - メチルブチル)アミノ] - 6 - メトキシキノリン; 3 - フルオロ - 4 - (4 - ヒドロキシ - , ' - ビス(2 - メチル - 1 - ピロリジニル) - 2, 5 - キシリジノキノリン、4 - [(4 - ジエチルアミノ) - 1 - メチルブチル)アミノ] - 6 - メトキシキノリン; 4 - (4 - ヒドロキシ - , ' - ビス(2 - メチル - 1 - ピロリジニル) - 2, 5 - キシリジノキノリン、4 - [(4 - ジエチルアミノ) - 1 - メチルブチル)アミノ] - 6 - メトキシキノリン; 3, 4 - ジヒドロ - 1 - (2H) - キノリンカルボキシアルデヒド; 1, 1' - ペンタメチレンジキノレイニウムジヨーゾド; および8 - キノリノール硫酸塩、それらのラセミ混合物および鏡像異性体、それらのリン酸塩および他の適切な薬物塩、ならびにそれらの混合物、

からなる群から選択される化合物であって、該化合物は、アジュバントと共有結合性に連結されるか、複合されるか、もしくは混合され、該アジュバントは、末梢膜の保護剤、末梢代謝阻害剤、および増強剤からなる群より選択される、組成物。

【請求項2】

請求項1に記載の組成物であって、前記活性成分が以下:クロロキン、リン酸クロロキン、ヒドロキシクロロキン、ならびに、アジュバントと共有結合性に連結されるか、混合されるか、もしくは複合されるそれらのラセミ混合物および鏡像異性体、それらの受容可能な薬物塩、および以上の混合物、からなる群から選択され、該活性成分および該アジュバントが、メラニン沈着されたカテコールアミンニューロンの呼吸を増加させるのに有効な量で存在する、組成物。

【請求項3】

前記末梢保護剤が、クエン酸カルシウム、グルコン酸カルシウム、乳酸カルシウム、およびリン酸カルシウム、からなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記アジュバントが、前記活性成分の末梢代謝を阻害する末梢代謝阻害剤であり、該末梢代謝阻害剤が、チトクロームP450 2D6酵素および/もしくはチトクロームP450 0 3A酵素の阻害剤である、請求項1~3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

前記末梢代謝阻害剤が、以下:アミオダロン、セレコキシブ、クロルフェニラミン、シメチジン、クロミプラミン、フルオキセチン、レボメプロマジン、メトクロプラミド、ミベフラジル、モクロベミド、パロキセチン、キニジン、ラニチジン、リトナビル、セルトラリン、テルピナフィン、ラセミ混合物および鏡像異性体、ならびに以上の受容可能な薬物塩、からなる群から選択される、チトクローム(CYP)2D6酵素阻害剤である、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記末梢代謝阻害剤が、以下:デラビルジン、インジナビル、ネルフィナビル、サキナビル、アミオダロン、シメチジン、シプロフロキサシン、クラリスロマイシン、ジエチル - ジチオカルバミン酸塩、ジルチアゼム、エリスロマイシン、フルコナゾール、フルボキサミン、イトラコナゾール、ケトコナゾール、ミフェプリストン、ネファゾドン、ミフェプリストン、ノルフロキサシン、ノルフロキセチン、ラセミ混合物および鏡像異性体、ならびに以上の受容可能な薬物塩、からなる群から選択される、チトクロームP450 3A酵素阻害剤である、請求項4に記載の組成物。

【請求項7】

前記アジュバントが増強剤であり、該増強剤が、ヒスタミンH₁レセプターアンタゴニストである、請求項1~6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ヒスタミンH₁レセプターアンタゴニストが、以下：マレイン酸カルピノキサミン、クレマスチン、ジフェンヒドラミン、ジメンヒドリネート、マレイン酸ピリラミン、トリペレナミン、マレイン酸クロルフェニラミン、マレイン酸プロムフェニルアミン、塩酸ヒドロキシジン、ヒドロキシジンパモエート、塩酸シクリジン、乳酸シクリジン、塩酸メクリジン、塩酸プロメタジン、アクリバスチン、塩酸セチリジン、アステミゾール、ロラタジン、テルフェナジン、ならびにラセミ混合物および鏡像異性体、ならびに以上の治療学的部分の受容可能な薬物塩、からなる群から選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

持続放出性製剤の形態である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

特発性パーキンソン病、パーキンソン病に関連する多症状性萎縮症、パーキンソンプラス症候群、非定型パーキンソン障害、パーキンソン病の認識症状、ドパミンもしくはドパミンアゴニストによる処置に関連するオン - オフ症状、脈管性パーキンソン病、薬物性ジスキネジー、遅発性ジスキネジー、運動変動、神経弛緩薬性悪性症候群、および統合失調症の陰性症状からなる群から選択される状態を処置するための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、該組成物は、有効なレジメンおよび有効量での投与に適している、組成物。